

本年度の教職員構成はつぎのとおりです。確かな学力と豊かな心の育成に向け、教職員一同力を合わせてがんばります。本校教育の推進につきましてご理解とご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

校長	平田 健三	ことばの教室	古本 直子
教頭	佐々木ちえみ	ことばの教室	岡本 晶子
1年1組	山本 幸美	指導工夫	山崎 明子
2組	竹内 美紀	音楽・指	大河内理絵
はばたき	森本 伸章	家庭・指	沖 千代子
はばたき	土井 誠美	拠点校指導員	広本 典子
2年1組	金子 芳寛	講師	仁田満里子
2組	池内 陽子	養護	出石小百合
3組	崎家久美子	栄養	笠井 純子
3年1組	重原 治	事務	才田 智之
2組	濱本 洋子	事業	守安 千帆
3組	木原 裕美	業務	桑田 正貴
4年1組	森脇美穂子	給食	白木美恵子
2組	数井かおり	給食	寺脇 聡子
5年1組	樋口 恒充	給食	山本 啓子
2組	青山 佐織	給食	河内 律子
3組	小谷 治	ふれあい指導員	盛中 亜紀
6年1組	上田 盛之	ふれあい指導員	久保 良子
2組	川口 大輔	特別支援アシスタント	浦島 恵美
3組	遠部 千雪		池田ともみ
ひまわり学級	山口 陽子		
ひまわり学級	上本由美子		
指導員	海田 和枝		

本年度 児童数 男子二五五名 女子二七〇名 計五二五名

一学年と四学年はいずれも八十名。四十名ずつの二学級です。一学年、二学年には、学年の児童数が七十一〜八十名の場合には、各学級に講師が配置されるという制度があります。本年度はそれに該当するため、一学年は担任と講師（はばたき）の二人体制で指導にあたります。

一学年、四学年は、五月一日までに一名でも増えれば、学年は三学級に再編成しなければなりません。ご理解いただいております。



April は4月のことですが、この語源はラテン語のAperie とのこと。「大地が開く」を意味するそうです。校庭のパンジーや水仙、桜の花も咲きほこり正に万物躍動、大地開くの感あり、です。

人の心をも弾ませてしまう空気がこの4月にはあります。入学式や入社式など、年度のスタートが4月というのは、日本の風土にはぴったりです。

船越小学校でも子どもたちは、新しい学年、新しい学級、新しい友達、新しい先生との出会いに胸ときめかせ、入学式、前期始業式を迎えたことでしょう。そんな子どもたちの期待に応えるべく私たち教職員は一丸となって誠心誠意努力します。本年度もどうぞよろしくお願い致します。



スイトピー

咲く花の静けさは
根が吸い上げた
大地のたたえる静けさ

咲く花の色の鮮やかさは
雨のしずくから拾った
虹のかけらの鮮やかさ

咲く花の気高さは
花をいつくしむ人の
ひたむきに生きる気高さ

絵 中村知文
詩 石川敏夫

あいさつ100%の学校に

「船越小学校全児童がすすんで気持ちのよいあいさつができるようにする」。本年度の船越小学校の最重点目標です。

気持ちのよいあいさつができる子どもは、心優しい子どもです。心にはりがあり、生き生きしています。「あいさつ」を漢字では、「挨拶」と書きます。この「挨拶」にも「挨拶」にも相手に対して自分を開いていく、自分からせまっていく、という意味があります。あいさつは、人間関係をつくる第一歩です。コミュニケーションの原点です。今日の社会において喫緊の課題とされている人間関係力の育成に資するものであり、確かな学力、豊かな心の育成にもつながるものととらえています。

これから学校でも「あいさつ100%の学校」をめざして、地道な指導の継続とともに、いろいろなはたらきかけを工夫していきたいと思っております。しかし、まずはなんと言っても私たち大人が（教職員が、保護者が、地域の方が）すすんで気持ちのよいあいさつを実践していくことです。家庭や地域、学校で**あいさつのシャワーを大人からかけていくことが大切です**。「子どもがあいさつしない」と嘆いてもよくはなりません。「あいさつできる子ども」に私たち大人が力を合わせて育てていきましょう。ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

「ことばの教室」の紹介
本校には、一人ひとりに合わせた教育の一環として通級指導教室「ことばの教室」があります。
この「ことばの教室」では、通級による指導を行っています。
通級とは、個別に定められた曜日の時間に通級指導教室に通い1対1で子どもに合わせた指導を行うものです。
ことばのことでご相談されたいことがありましたら、教育相談をしますので、いつでも学級担任の先生またはことばの教室の担当者へご連絡ください。

担当教諭 古本直子
岡本晶子